

特別支援教育コーディネーターの役割

2 保護者に対する相談窓口

保護者に対する学校の相談窓口となり、保護者を支援します。

(1) 保護者の気持ちの受け止め

- ・ 保護者の気持ちの受け止めは、受容と共感を大切にしながら信頼関係が築けるように配慮します。
- ・ 保護者の児童生徒への願いや、課題となっていること、学習面、行動面、対人関係を丁寧に聞き取っていきます。
- ・ 必要に応じて保護者から家庭の様子、生育歴、療育や医療等の経過についての情報を把握します。

(2) 保護者とともに考える対応策

- ・ 話し合いの中から、状況を整理し、問題点や改善点について徐々に内容を絞っていき、答えを早急に求めないことが重要です。
- ・ 家庭、学校、関係者が共通理解をしながら、それぞれの立場でできることを考え、一貫性のある対応策が導き出せるようにしていきます。

(3) 保護者への支援体制

- ・ 担任とコーディネーターとが連絡を取り合うことを保護者に説明し、担任と共に組織的・継続的に保護者を支援することへの理解を求めます。
- ・ 状況によっては、校内委員会や専門家チームでの検討について説明します。
- ・ 学校体制としても、例えば保護者からの相談窓口をコーディネーターだけでなく校内委員会のメンバーも含める等、複数の窓口を用意することも考慮します。

